



## ターニングポイント

アシェル・イントレータ

2015年01月23日



この2014-2015年という年は重要なターニングポイントであり、多くの方がご存じの通り、ユダヤ暦における「シュミタ年＝安息年」になります。また今週はポーランド南西部のクラコヴに近いアウシュヴィッツ死のキャンプからの開放70周年にあたります。その場所で1942年から1945年までの間に110万人のユダヤ人（私の祖父の家族何人かも含む）がナチスにより殺されたと見られています。1月27日にソ連軍がアウシュヴィッツに進行し、餓えと寒さで苦しんでいた7千人の生き残った収容者を開放しました。

アウシュヴィッツが開放されただけでなく、中東および太平洋の戦争も含んだ、第2次世界大戦そのものが終わったのです。このことは日本やその周辺国にとっても重要な70年間の終わりでした。

70年とは歴史的な預言や罰の成就する期間として描写されています(エレミヤ25:11, ダニエル9:24)。70年周期の期間は、「親の罪がやってくる」(出エジプト記20:5)という考え方、および人生70年(詩篇90:10)ということと関連付けられています。70年間でひとつの世代が次の世代を生んだ後最初の世代が死んで行くという一連のサイクルが完結します。今日第二

次世界大戦を経験した世代が亡くなって行っています。現在の世代は、過去に何が起きたかということに対し、それほど感情的な繋がりを持っていません。

第二次世界大戦の終り以降、ナチスから今日イスラム過激派となっているものへ、ユダヤ人を根絶するという「ビジョン」が確実に受け継がれています。今年 2014-2015 年は ISIS=「イスラム国」が国であると宣言しました。これはイスラム的世界観における大きな拡大（展開）でした。ハマスからヒズボラ、アルカイダに至るまで、全てのテロリストグループは、カリフ制（世界規模のイスラム帝国）の新生を望んでいたものの、彼ら自身をその帝国とは見なしていませんでした。イスラム国はカリフ制国家の樹立を宣言したのです。

欧州と国連は、その懐にある危険に対しそれほど理解していないようです。民族大虐殺から 70 年の今、イスラエルのみが声を大にして、現代、私たちの世代におけるイスラムジハード（聖戦主義）の脅威について指摘している国であり、国連総会において聖書を引用している唯一の代表がイスラエルの代表なのです。

この同じ期間においてキリストのからだにおける新しい展開を、私たちは見えています。過去最大数の、心から信じているクリスチャンが、欧米ではなく、アジアで起こされています。アジア教会の隆盛は、この約 2000 年間に未曾有の次元のパラダイムシフト（考え方等の大変革）です。加えて、回復された国家、イスラエルにあるメシアニックレムナント（残された者たち）はゆっくりと確実に発展し成長しています。このイスラエルの霊的な回復も紀元 1 世紀からこのかた見られなかった、預言的重要性のもうひとつのパラダイムシフトなのです。

---

## 受け継いだもの

ポール・ウィルバー



レガシー（受け継いだもの）は、今私にとって「熱い」ことばです。何を建て上げ、誰に任せようとしているのでしょうか。レガシーとは、自分自身の発展よりも、次世代が前進できるよう多く考えることです—自分自身よりも私の子供たちやそ

の子供の子供たちが前進することなのです。適切な家を、適切な大工により、適切な材料--油注ぎ、卓越、ちから、正確さ、完全性、愛--をもって建てる時、成功が約束されます。ソロモンがこのように述べています「主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。」(詩篇127:1)。

私はどうしても何か重要なものの一歩になりたいと思うあまり、自分がどうにかしなければと自分の手に握りしめています(そうです、1946-64 生まれのベビーブーム世代のあなたの事です)。ここから出て行くのは、次の世代へバトンを渡して行くための、私たちの祈り、計画、知恵、啓示、能力の結果に大きく頼っています。私は、この人生が、来たる世代にとって御国が特別なものとなるため、捧げることができればと思っています。私の人生を通してイザヤのこの御ことば「あなたの上にあるわたしの霊、わたしがあなたの口に置いたわたしのことばは、あなたの口からも、あなたの子孫の口からも、すえのすえの口からも、今よりとこしえに離れない」が成就することを望んでいます。私たちの受け継ぐべき遺産は、主がその遺産であるとき保証されるのです。

---

## イエシュアに触れる



このビデオでアシェルは、私たちのみではなく私たちの国々にも癒しを解き放つところの、信仰の絶望について話しています。英語でご覧になるには、[こちら](#)。